つなぎ美術館｜ぼくのおくさん☆プロジェクト

夫婦（パートナー）の事件簿

ファイル NO.（ 0001 ）

展示方法：（ 現物 ・ 写真 ・ 映像 ・ ファイル ）

1. 事件名：「 8割完了皿洗い事件 」

2. 事件発生の時期：（西暦 2014年 11月1日 ～ 2018年 7月3日）

3. 発生件数：（1回のみ・複数回）

複数回の場合：（年・月・週・日）に（ 1 回）程度　その他（　　）

4. 加害者：（妻・夫）　被害者：（妻・夫）　その他（　　）

5. 事件の詳細

記憶に残る言葉： 夫「8割がたやっといたから！」　妻「偉そうに言ってるけど、それ2割しかしてないから。」

状況： 夫は皿洗いをすると、必ず「8割がたやっといたから」とドヤ顔。しかしシンクには、ギトギトの鍋やフライパン、生ゴミの処理、なぜか数本の箸や、プラスチックカップなどが残されている。洗い物は上を向いて重ねて調理台に置かれたまま。つまり一番面倒なものは残す。洗いやすい皿だけ洗って、8割も済ませたと言う。

被害者の想い： なぜいつも8割しかしないでドヤ顔？　なぜ全部しない？

加害者の想い： 「8割もしたら、あとがとっても楽だろう。助かるだろう？　鍋は汚れが落ちやすいようにつけてあげているのに。段取り八分という言葉がある通り、もうできたも同然！　残りの2割で達成感が味わえるんだから、むしろ感謝してもらいたいなぁ、、、。」

その他・自由記述： 結局、話が全く噛み合わない。妻はなぜ全部仕上げないのか。一番面倒なものが残っているんだから、2割しかしていない。で、もしそう言うのだったら、なぜ2割残すのか。それは自分が責任持とうとしていない証拠ではないかと責める。夫は、8割もしていると思うのに、どうして怒られるのかが理解できない。

6. 記入者：（妻・夫）　その他の場合（　　）　7. 記入日：（西暦 2018年 6月26日）

8. ペンネーム：（ 鬼のパンツ ）　9. 結婚期間：（ 8 年目）

10. 妻の年齢：（ 40 歳(代)）　夫の年齢：（ 50 歳(代)）　その他の場合（　　）

11. 居住地：（岡山　都・道・府・県）　海外の場合（　　）